

## 知って欲しい 当社の歴史

1977年8月。赤帽小久保運送はその年発足した、赤帽群馬県本部の1台としてその産声をあげました。当初は創業者である小久保幸一の妻(当時、オートレース場のパートや夜間のレジ打ちバイトをしていた)が営業の主体でした。第一次オイルショックの影響で、幸一は勤務先が傾き出し、やむにやまれず赤帽という道を選びましたが、役職に付いていたためすぐに退職できず、暫くは妻であるミチが赤帽群馬県本部所属の赤帽メンバーとして営業を担うことになったのです。

さて開業当初、今の様な事務所はありません。日中不在になる、伊勢崎市の親戚宅を間借りして事務所にしていました。時に甥っ子の勉強を見て上げるなどしつつ、いつ入ってくるかわからない仕事の為に朝から晩まで仕事を待ち続けました。

初めて入った仕事は、ある町工場からの依頼。その会社はもう無くなってしまいましたが、その時のうれしさは今でも忘れないと創業者は語ります。市内にあったホームセンターの資材運び等もして、何とか創業期の苦しい時期をしのいできました。

そうしているうち日本経済の進展とともに、また創業者幸一の懸命な努力の結果仕事量も増え、たまたまミチが配達途中で出逢った物件(現ベシア流通技研研究所前。食堂の跡)を事務所として借りることになり、新たにスタートを切ったのです。

今思えばその場所は、3つの工業団地に隣接し、橋を渡ればすぐ本庄IC、そして何よりも(株)いせや(現(株)ベシア様)様の本社近くであったということが幸運だったのでしょうか。そうした近隣の企業様より定期便やスポット便を依頼されることが増え、同時に社員と台数も増えていきました。さらに青ナンバー免許も取得し、地域の運送業者として徐々に名前を知られていくようになったのです。

1台から、しかも創業者の妻が始めた赤帽業。時代とともに姿、形、そして規模を変えて現在に至ります。社歴36年の当社が生き残れたのは、環境変化に対応してきたからです。これからは当社は姿形を変えて、地域のインフラとして必要とされる企業を目指して歩んでいきます。

## 当社の年表

**1977年8月** 赤帽業創業。創業者小久保幸一の妻が経営主体となり始める。同年、勤務先を退職した幸一が加わり夫婦で赤帽業を始める。

**1977年8月** 事務所開設(伊勢崎市連取町にあるミチの実姉夫婦宅を間借り。)

**1979年4月** 事務所を伊勢崎市富塚町(現流通技研北側 食堂跡に移転)

**1981年11月** 青ナンバー取得

**同年同月** 小久保運送有限会社設立

**1987年11月** 現事務所 伊勢崎市八斗島町へ移転

**2004年2月** 本庄出張所設置(お客様引継のため)

**2006年6月** 古物商許可取得 リサイクル事業部創設

**2007年5月** リサイクルエクスプレス堀口店開設

**同年 6月** 東京買取センター開設

**2008年10月** デジタコ導入

**2010年4月** (株)KSS 設立

**2011年3月** 東日本大震災発生(損害無し)

**2012年3月** 伊勢崎市一般廃棄物収集運搬業許可取得



小久保運送(有)  
(株)KSS  
勤務者心得  
仕事・人生の美学

当社の行動規範です  
迷った時は読み返して下さい



小久保運送有限会社  
(株)kokubo  
赤帽小久保運送

〒372-0827  
群馬県伊勢崎市八斗島町1604-8  
電話 0270-32-1542  
本庄出張所  
電話 0495-24-7117

## 社員心得 当社の一員として

1. One for All, All for one. 1人はみんなのために。みんなは1人のために。この精神を忘れずに。
2. おはようございます。お先に失礼します。お世話になります。いつも気持ちのよい挨拶を心がけること。
3. ゴミは拾おう。乗車した車内は当然だが、当社に限らず、仕事で行った先で落ちているゴミも同じである。
4. お客様と接する際は制服を着用し、名札を付け、自分がどこの誰であるかを明確にする。それが礼儀である。
6. お客様出発時には「お預かりします」と挨拶をして出発する
7. 積込時には荷物について伝票照合、もしくは口頭で数・品名等を確認して出発する。
8. 出発時には行先の確認、到着時間の確認等を必ず行うこと。
9. 約束した時間は守る。しかしやむを得ず遅れる場合もある。その際必ずお客様には連絡する。
10. 当社は当社を必要とされるお客様のために存在する。従って、いつ入ってくるのかわからない仕事を待つのも仕事である。
11. 仕事に負けないこと。どんな仕事でも受け止められる心や能力を身につけること。またそうなれる努力をすること。
12. 今日、自分が担当した仕事の愚痴を言わないこと。会社は愚痴を言い合う場所ではない。
13. 他人の仕事に嫉妬しない。仕事は巡り合わせである。
14. 今日の仕事は先輩が築いてきた実績の賜と考えること。
15. 自らに足りないスキルは何かを考え、足りないモノを補う努力をすること。すなわちそれが成長の基になる。

## 社員心得 ハンドルを握るドライバーとして

1. 自動車は走る凶器。運転する人次第で殺人マシンに変わる。だからこそ、我々は細心の注意を払ってハンドルを握らなくてはならない。
2. 出発時は必ず点呼、アルコールチェックを受ける。飲酒運転は自分も会社もお客様までも、破滅につながる第一歩であると心得よ。
3. 常にお客様の立場に立って仕事をする。私達はお客様が喜ぶ仕事をし、初めて対価が頂ける。
4. 我々は公道を使用して仕事をしている。交通ルールを守り、流れに沿った運転を心がけよう。
5. 弱者保護。歩行者や自転車、老人や子ども達に優しい運転を心がけよう。
6. 急に止まらない。急に曲がらない。急に動き出さない。
7. 必要以上に、下がらない、進まない、曲がらない。
8. 我々はプロである。プロドライバーとして誇りを持ち、一般ドライバーの手本となる運転を心がけよう。
9. 天候により制動距離は変わる。雨や雪の日の運転には気を付ける。車間距離を取り、急ブレーキ・急ハンドルは厳禁。
10. 当社の統計上事故率が高いのは、夜かつ雨or雪の日である。
11. 早朝、夕暮れは早めの点灯を心がけ、他者に注意喚起すること。
12. 走行中渋滞に遭遇したら、必ずファザードを点灯し、後続車両に知らせる。
13. 連続4時間以上の運転はしない。意識して休憩すること。

## 社員心得 人として 社会人として

1. 何よりも正直でまっすぐな心を大事に。
2. 人を見て態度を変える人間になるな。
3. 自分の非はすぐに認める。説明はするが、言い訳はしない。
4. 何事にも興味を持ち、生きていること、仕事をしていること遊ぶことを楽しみ、人生を謳歌する努力をする。
5. ありがとう、すみません、お世話になりました。他者に感謝する心を忘れない。人間は1人では生きられない。
6. 親を敬い、家庭を大事にし、妻や子どもに慕われる人になる。なれないなら、なる努力を。
7. 人生は出会いで決まる。一期一会。人と人との出会いを大切に。
8. 人に優しく、思いやりを持って生きよう。常に相手の立場に立って物事を考える癖をつけよう。
9. いつも気持ちの良い挨拶と、TPOに合わせた服装をすること。人は第一印象で相手を判断する。
10. 言うべきことは口に出して言うこと。伝えなければ伝わらない。人は言葉によってお互いを理解すると心得る。
11. 報告、連絡、相談をするべき人に行うように心がけ、独りよがりな意志決定や、事後報告はしない。
12. 常に一流の仕事が心をかける。それが次につながる。
13. 仕事に対する美学を持って。それが成長につながる。
14. 人生は短い。だからこそ仕事を通じて自分を磨こう。